

とあるは奈良豆比古と云より南良春日四所と云へるものにて信かたし名所圖會に祭神天押雲命とあるは春日若宮と云ふによりて云る説なれど上の説よりはや、近からんされど天押雲命を奈良豆比古神と云べくも思はれず姑く奈良豆比古神としてあるべきなり

祭日 二月四日九月九日十一月二十二日

社格 村社
所在 奈良坂村字中街道(奈良市字奈良坂)

神波多神社

祭神

今按社傳祭神素盞鳴命丹生大神高野大神氣比大神磯島神とあるは何の據ありてかく云るに詳かならず且祭神五座なるも疑はしされと他に考證すへきものなければ記して後考を俟つ

祭日 九月二十五日

社格 郷社
所在 中峯山村字波多横山(山邊郡波多野村大字中峯山)

高橋神社

祭神

今按社傳祭神不詳或は榜幡千々姫命なりと云へど他に明證なし

祭日 二月二十二日

社格 村社
所在 八條村字高橋(添上郡大安寺村大字八條)

太祝詞神社

祭神 天兒屋根命

今按社傳祭神不詳とあれども日本書紀に使天兒屋根命其解除之大諱辭而宣之焉とみえ兼俱本の式帳書入に天兒屋根命也とあり今も本社を春日社と云などによりて思ふに兒屋根命にますこと明なれば今は兼俱本の書入に從て記せり

祭日

社格

宅布世神社

祭神 天兒屋根命

祭日 十月二十七日

社格 村社
所在 鉢伏村(添上郡東市村大字鉢伏)

大和日向神社

祭神

所在 櫻本村字奈良山

賣太神社

祭神

今按社傳祭神稗田阿禮と云るは稗田村に社ありて稗田と賣太と音近きよりの附會と思しければ信がたし古事記開化段に彦坐玉山代之任名津比賣亦名薊幡戸辨に娶て生る大倭王の子菟上王の事を菟上王者比賣陀君之祖また段中比賣陀君等賜姓謂比賣陀之君也とみえたる比賣陀君氏の此地に住て菟上王を祭れる社なるべし

祭日 九月九日

社格 村社
所在 稗田村字宮ノ森(添上郡平和村大字稗田)

春日祭神四座

祭神 武甕槌命

齊主命
天兒屋根命
姫神

今按帝王編年記一御殿健甕槌命常陸國鹿島云云二御殿伊波比主命下總國香取三御殿天兒屋根命河内國枚岡四御殿比賣神伊勢國相殿自伊勢大神宮遷御など諸書にあれど祝詞式祭條に四座の神を奉たるに比賣神

夜支布山口神社

祭神 大山祇命

神位 文德天皇嘉祥三年十月辛亥進大和國夜岐布山日神階授從五位下清和天皇貞觀元年正月二十七日甲申奉授大和國從五位下夜岐布山日神正五位上
官幣清和天皇貞觀元年九月八日庚申大和國養父山日神造使奉幣爲風雨祈禱

祭日 八月三十日九月五日

社格 郷社
所在 大柳生村(添上郡大柳生村大字大柳生)

春日神社

祭神

今按土人の説に當社を大和日向神社と云へれど他に證なければ信がたし又祭神天照大御神春日大神と云るもいかゞこは櫻井臣同族なる春日朝臣の祖神なるを以て神社も櫻本村にますならん

祭日 九月十四日

社格

大和國 添上郡